

# 原発被災地：小高の医療復興を目指して

遠隔診療を活用した小高型医療モデルの試み

## 南相馬市立小高病院

2018.3.27 規制改革推進会議 公開ディスカッション 資料

# 南相馬市について

人口 … 61,354人 (平成30年1月31日現在)

※うち6,600人は市外に避難

面積 … 398.5km<sup>2</sup>



相馬野馬追 (重要無形民俗文化財指定)





平成18年1月1日  
→ 南相馬市誕生

## 小高区

### 人口

<H23.3/11>

12,842人



<H30.1/31>

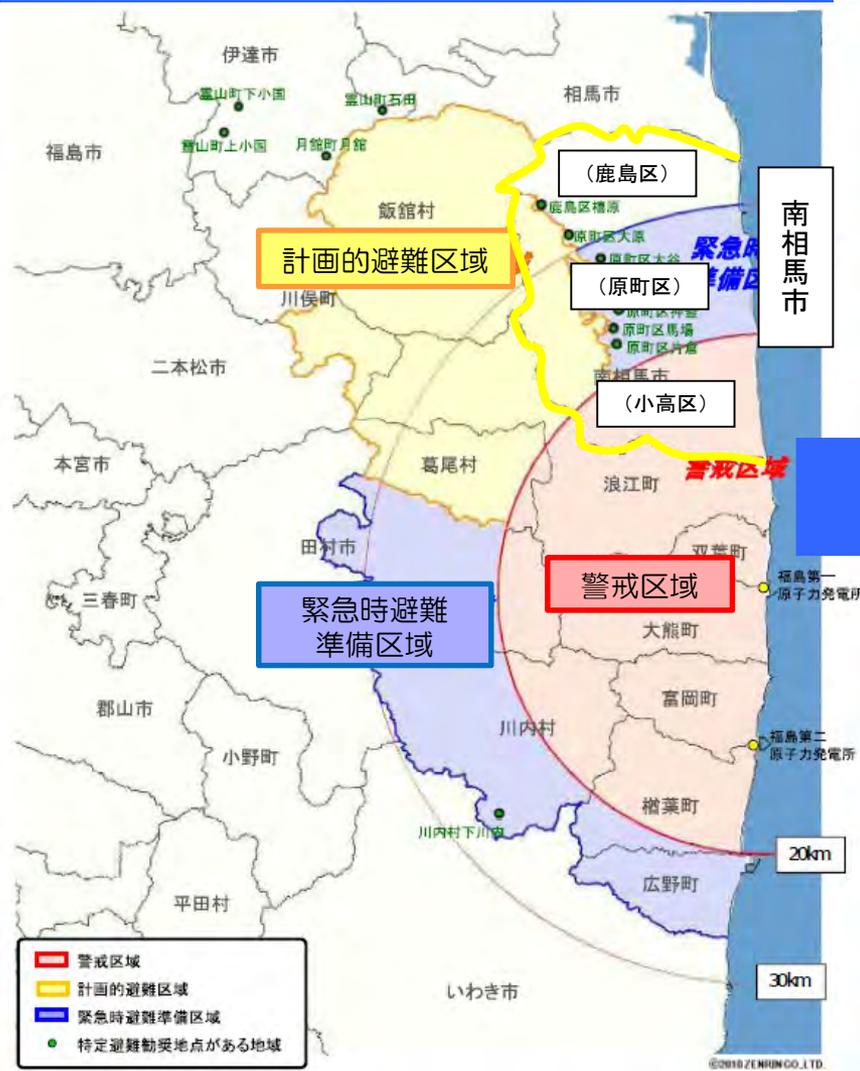
2,469人

### 面積

92.0 km<sup>2</sup>

# 南相馬市の区域の見直し

震災後の区域(平成23年4月)



平成28年7月12日時点



(単位: %)

<b>高齢化率</b>
前期高齢化率
後期高齢化率

## 東日本大震災直前

南相馬市	小高区
<b>25.8</b>	<b>27.9</b>
11.5	11.4
14.3	16.5

## 平成29年11月現在

南相馬市	小高区
<b>33.8</b>	<b>50.6</b>
16.7	23.6
17.1	27.0



## 医療機関数

病院
診療所
歯科医院
調剤薬局

## 東日本大震災直前

<b>2</b>
7
5
3

## 平成30年2月1日現在

<b>1</b>
3
0
2



# 避難解除後の小高の見守り活動

帰ってきたのは良いけれど…①

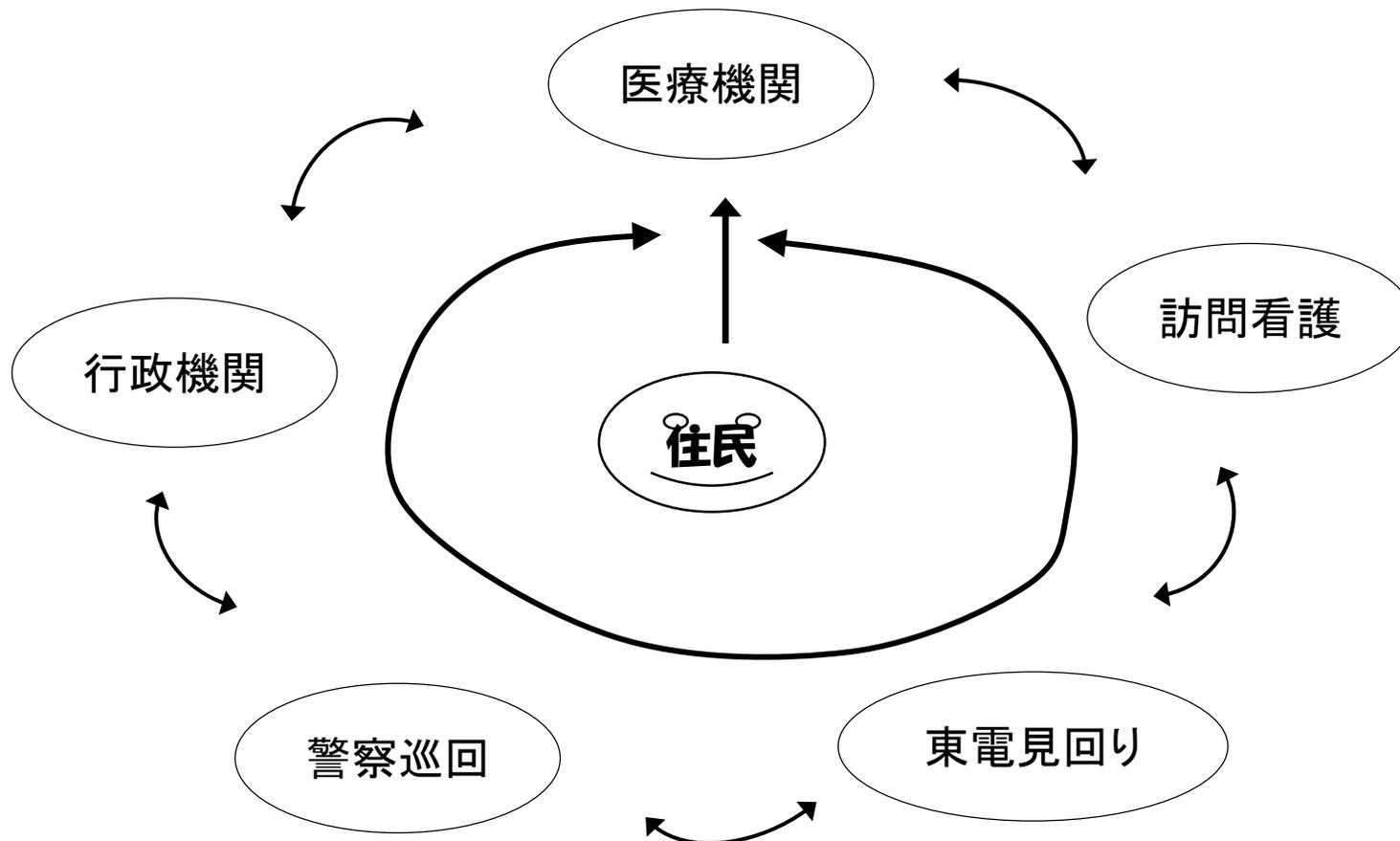
共同体の再崩壊(うつ～ひきこもり)  
周りに帰ってきた人が少ない、陸の孤島、防犯

- ① 社会福祉協議会（福祉法人：市から委託）
- ② 見守りパトロール隊（市：市民福祉課）
- ③ 保健師巡回（市：健康づくり課）
- ④ 東電パトロール（東電のボランティア）
- ⑤ 民生委員
- ⑥ 警察

関係各部署でバラバラに組織  
相互の連携に乏しい…  
情報の共有が？

# 医療復興への試み① “小高医療ネットワーク”の構築

協議会 2回開催



遠隔診療システムの共用

## 医療復興への試み② “遠隔診療”の導入

帰ってきたのは良いけれど…②

独居老人～夫婦の生活、老々介護、認知症  
車がない、動かせない…(水没前のダム湖)

家庭力、地域力の崩壊！

病院に行きたくても行けない…

来られないならこっちから…(訪問診療)

それを端末でできないか… (遠隔診療)

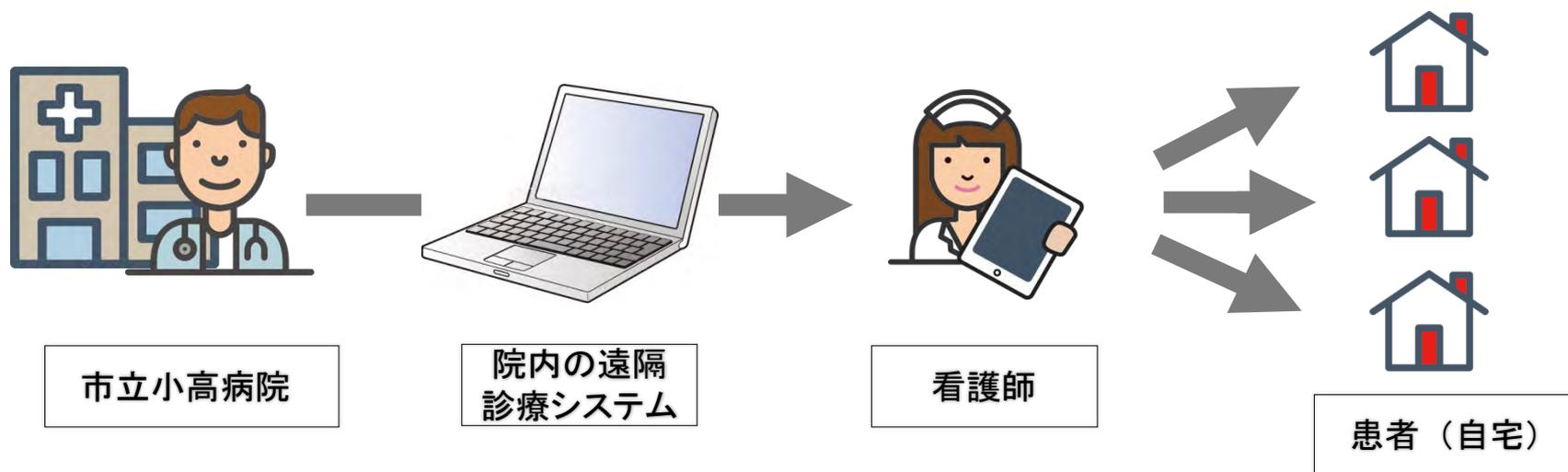
週2日は訪問診療、  
週3日は外来日(外来の合間に遠隔診療)

# 「遠隔診療」を活用した在宅医療モデル(小高モデル)

## 概要

- 遠隔診療で可能か、初診は対面で
- 病院職員(看護師)がタブレットを持って訪問、遠隔診療をサポート
- まずは住民を十分に理解している看護師が訪問することでスムーズな導入を図る

基幹病院へ



## 期待される効果

- 医師が患者宅に出向く訪問診療よりも時間が効率的、より多くの患者を診察可能
- 限られた医療資源のなかで、定期的な医療的フォローの担保

## “遠隔診療”の特徴

1. 新たな機器の購入不要(ソフトの導入だけ)
2. 基本的に患者さんの電子端末(スマホ、PC)等で行える
3. 予約による診療であれば、待ち時間がない。
4. 自宅での生活状態が見える
5. 移動の距離や時間の割愛(効率化)

## “遠隔診療”の不便な面

1. IT機器を使用するので、高齢者にはハードルが高い  
→ 看護師がタブレットを持参
2. 処方箋は出せても、薬は薬局に受け取りに・・・  
→ 薬事法(薬剤師の“対面指導”)

# 都道府県別医師数( H26.厚労省)

(人口10万人当たり:全国平均 **233.6人**)

順位	都道府県	男	女	総数
1	<b>京 都</b>	240.4	67.5	<b>307.9</b>
2	東 京	217.9	86.6	304.5
3	徳 島	234.6	68.7	303.3
4	高 知	235	58	293
5	福 岡	236.7	56.2	292.9
6	鳥 取	239.4	50.2	289.6
7	長 崎	238	49.8	287.8
8	岡 山	231.4	56.4	287.8
～	～	～	～	～
41	青 森	163.7	29.6	193.3
42	岩 手	163	29	192
43	<b>福 島</b>	161.3	27.4	<b>188.7</b>
44	新 潟	156.8	31.4	188.2
45	千 葉	146.2	36.7	182.9
46	茨 城	135.4	34.2	169.6
47	埼 玉	122.3	30.5	152.8

# 相双地区：震災後の医療復旧状況

## 医療従事者数（2014.12 県・市調べ）

人口10万人当たり

職種	国	県	相双地区
医師	<b>233.6</b>	<b>188.7</b>	<b>84.0</b>
看護師	796.6	743.6	463.0
歯科医師	81.8	68.3	32.5

## 再開医療機関数（2015.7.福島県調べ）

小高では

病院＋診療所：震災前**9**施設、震災後**4**施設  
薬局：震災前**3**施設、震災後**2**施設

施設	震災前	震災後
病院	16	<b>10</b>
診療所	125	<b>78</b>
歯科医院	65	<b>43</b>

# 今小高の在宅・遠隔診療で最も困っている事

## ① 服薬指導・・・

遠隔服薬指導 → 遠隔診療には必須！  
(そもそも慢性疾患の安定期にいつも要る？)

## ② 薬の配送手段・・・

最短、確実な方法は？  
今後は無人自動車、ドローンも？

介助者が必要  
訪問看護師、介護職、AIの活用？

遠隔服薬指導を進める上で

- i ご高齢者にタブレットでどうやって指導？
- ii 推進には薬局の参入メリットの確保が不可避
- iii 訪問診療でも使えるべき